令和７年度　幼保連携型認定こども園　美里さくら幼稚園自己評価　結果公表シート

1，教育及び保育の目標

<理念>　…就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づいて、心身ともに健やかに育成されるよう乳幼児期の教育・保育を行う他、遊びを通した総合的な指導を行い、小学校との接続を目的とする。

<方針>　…乳幼児期の人格形成をしていく中で、園での様々な生活体験を重ね、『自身の心に羅針盤となる基礎をつくり自身の進むべき道を見いだす』基本的生活習慣を身につけると共に、個性と才能、自立心を育てる。

<目標>　①『のびのび』　一人ひとりの個性を発揮し、豊かな感性を養い、生きる力を大切に育てる。

②『なかよく』　友達との関わりや経験を積み重ね、友達の輪が変化する事を見守る。

③『元気よく』　園行事の他、幼児体育や水慣れを通してチームワークやけじめを自然に身につける環境を作る。

○本園では、目指す幼児像として次の５項目を掲げる。

① 「自然」との交流を楽しむ。
② からだや表現素材を使った遊びの中から表現することを味わう。
③ 忍耐力、集中力があり、落ち着きがある。
④ 素直で、思いやりがある。
⑤ 丈夫で、巧緻性のある体を持つ。

2，具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、保育教諭自身が客観的に自園を見る目を養い、教育及び保育内容の改善に主体的に取り組み、更なる向上を目指す。

3，評価項目の取り組み及び達成状況

規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	B	登園から降園までの一日の流れの中で、子どもが身につけてほしい生活習慣の獲得を促した。
幼小接続が円滑に移行できるようにする。	A	就学を見据えた教育課程の編成。年長児の机配置は教師と正対面する形式を取り入れ、学科面では「あいうえおノート」「ランドセル製作」を行い就学への期待感を高めている。また東児玉小学校との幼少架け橋プログラムを構成し、教職員の交流や小学校探検や園児が小学校一年生との交流を行いスムーズに就学ができるよう活動している。
サントレで集中力、忍耐力、良い姿勢を身につけ、心の体幹を鍛える。	B	「サントレ」は本園活動の背骨的なプログラムであることを教職員全員が理解し、常に工夫する姿勢が見られた。また「良い姿勢」の意識付けの推進は随所に現れている。
幼児体育インストラクターによる正課体操を積み重ね、身体の体幹を鍛える。	B	インストラクターと保育教諭の協力により、園児個別やクラス全体の目標設定や目標達成による心身的成長や満足感を持つ。
園児の欲求を汲み取り、新鮮な教材、楽しい教材の工夫をする。	B	保育教諭一人ひとりが園児の興味・関心にしっかり対応し、サポートする姿が見られた。また、教材研究の意欲的な取り組みも見られ、慣例的でない新しい製作作品が次々と生み出されている。

4，具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理　　由
B	教師は各自適切に自己点検、自己評価に取り組む様子が見られ、更なる向上が期待される。

＊結果について・・・A：十分達成されている　　B：達成されている
C：取り組まれているが、成果が十分でない　　D：取り組みが不十分である

5，今後取り組むべき課題

課　　題	具体的な取り組み方法
情報公開の方法	ホームページ等のネットワークを更に活用し、情報提供を広げていく。
自己点検、 自己評価	最低限こうしてほしいといった基本の項目を点検課題として挙げているので、各教職員に於いてはさらに課題を挙げ、自己研鑽に取り組むようにしている。
指導計画の編成	新教育要領に基づいた指導計画の作成のために訂正、加筆をさらに加え、園を取り巻く環境や子どもの実態に即した、新たな指導計画の可能性について追求していく。